

「乾田直播栽培」の検証について

■概要

急速に技術普及が進む「乾田直播栽培」について、本市における乾田直播栽培技術を活用したコメの作付けについて、生育状況や収量など、その実効性の検証を目的として、試験栽培を行うものである。

【基本情報】

	作付品種	作付面積	播種量	平均単収
取組者 D	ちほみのり	3.4ha	5.9 kg/10a	88 kg

【ほ場の作業】

直播栽培のため、移植栽培と比較するとほ場における作業時間が短縮される傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
4/26～5/2	・基肥 (ブロードキャスター)	・SBX Type-Organic (60 kg/10a) ・節水型水稻一発 (45 kg/10a) ・ペレット鶏糞 (45 kg/10a)
5/5～5/7	・ロータリー耕起 1回目 (トラクター)	—
5/16～5/19	・ロータリー耕起 2回目 (トラクター) ・鎮圧作業 (ケンブリッジローラー)	—

【播種の作業】

直播栽培のため、移植栽培と比較するとほ場における作業時間が短縮される傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
5/16～5/19	・除草剤散布 (ハイクリブーム) ・播種:条間 18 cm (播種機グレンドリル) ・鎮圧作業 (ケンブリッジローラー)	・タッチダウン乳剤 (100ml/10a を 1,000 倍希釈) ・マーシエット乳剤 (100ml/10a を 1,000 倍希釈)

【発芽期の作業】

乾田直播のため、ほ場が乾燥状態であり、作業効率が高い傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
6/10～	・発芽を確認 ※発芽散漫	—
6/12～6/15	・追肥 (ブームスプレーヤー)	以下 4 種混合で使用 ・イーストガード (20g/10a を 3,000 倍希釈) ・K3 アイアンプラス (10g/6,000 倍希釈) ・デカミンMAX (33g/10a を 1,800 倍希釈) ・べっかい汁 (20g/10a を 3,000 倍希釈)
6/20～	・除草剤散布 (ハイクリブーム)	・クリンチャーバス ME (1,000ml/10a を 100 倍希釈)
6/25～6/26	・追肥 (ブームスプレーヤー)	・4 種混合

【発芽期から出穂期までの作業】

畑地雑草が繁茂する傾向にある。

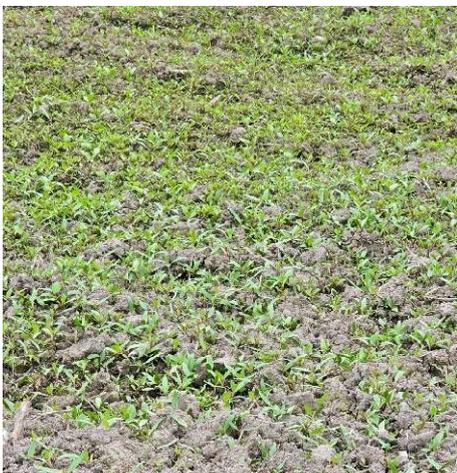
作業日	作業内容	使用資材
6/30～7/2	・除草剤散布 (ハイクリブーム)	・ロイヤント乳剤 (200ml/10a を 500 倍希釈)
7/20～7/21	・追肥 (ブームスプレーヤー)	・4 種混合
7/24～	・防除:いもち病 (ハイクリブーム) ・防除:紋枯病 (ハイクリブーム)	・ビーム (100ml/10a を 1,000 倍希釈) ・モンセレン (66ml/10a を 1,500 倍希釈)
8/1～8/2	・除草剤散布 (ハイクリブーム)	・ロイヤント乳剤 (200ml/10a を 500 倍希釈)
8/10～8/11	・追肥 (ブームスプレーヤー)	・4 種混合
8/12～8/15	・出穂を確認	
8/23～	・防除:いもち病 (ブームスプレーヤー)	・ブラシフロアブル (1,000ml/10a を 100 倍希釈)
8/30～	・防除:カメムシ (ブームスプレーヤー)	・スタークル (100ml/10a を 1,000 倍希釈)

【出穂期から収穫までの作業】

慣行栽培でも落水期であるため、作業自体は変わらない。

作業日	作業内容	使用資材
9/3～9/5	・追肥 (ブームスプレイヤー)	・イーストガード (20g/10aを4,000倍希釈) ・K3 アイアンプラス (10g/10aを8,000倍希釈)
9/10～	・防除:カメムシ (ハイクリブーム)	・スタークル (100ml/10aを1,000倍希釈)
10/7～10/8	・収穫(コンバイン)	—

【観測写真】

月	近景	遠景
5月		
<p>・未だ、出芽は確認できず、畑地雑草が発芽している。</p>		
6月		
<p>・発芽を確認したが、圃場全体に畑地雑草がかなり目立ってきた。</p>		

7 月		
<p>・畑地雑草が目立ち、稲の生育にムラがある。</p>		
8 月		
<p>・出穂し開花も確認できたが、雑草の抑制ができていない。</p>		
9 月		
<p>・順調に成長しているようだが、雑草がかなり生い茂っている。</p>		

10
月



•穂も色付いて収穫も近そうな様子。雑草の抑制は難しいようだ。